

斜め45° の立体自動検査!

リアルスコープ卓上型 MODEL RM 203

3Dチェッカ



- ・ 3D画像で、リード浮き、挿入部品の浮き、部品極性などの検査をします。
- ・ 自動カメラ視線で、部品の3D画像を撮像します（リアルスコープビジョン）。
- ・ 望遠効果で隅々までピントが合い、斜め画像のズーム検査もできます。

名称	リアルスコープ 3Dチェッカ
型式	デスクトップ型 RM 203
動作モード	①リアルスコープ3D自動検査 ②リアルスコープ3D撮像検査
検出方式	①パターンマッチング ②部品種別パラメータ認識
検出内容	①異型部品挿入不良検査：逆挿入、浮き、部品違い ②表面実装部品搭載検査：欠品、ズレ、反転、極性 ③はんだ付不良検査：浮き、はんだ無し、はんだ量、ブリッジ
対象基板	①フロー前後 ②リフロー後
対象部品	①異型挿入部品 ②表面実装部品
標準検査時間	～250 ms/視野
基板に対する視線の角度	基板中心点で45° (26°～61°)
撮像装置	380,000画素カラー1/4" CCD オートカメラ/ターンテーブル
検査解像度	10 μm～
画像倍率(17"モニタ)	標準 23～93× (*デジタルズーム)
照明	高周波点灯白色蛍光灯
基板サイズ	50mm×50mm～350mm×250mm/T:0.5mm～2mm
クリアランス	上面：120mm 下面：50mm
着脱・幅寄せ	マニュアル操作/外形基準
コントローラ	PC(WINDOWS™XP)+モータコントロールボード+キーボード+モニタ
外形寸法(mm)・重量	550(W)×805(D)×700(H); 約90Kg
電源・消費電力	AC100V 50/60Hz; 1 KVA
動作環境	温度：5～35°C/相対湿度：30～80% (結露がないこと)

